



【校訓】ルール 友情 根性

No.1

〔学校教育目標〕

ふるさとを愛し、
心豊かでたくましく生きる生徒の育成
～地域を元気にする二中生、
地域から応援される二中生～

令和5年4月14日発行

文責 校長

全校生徒122名の輝く瞳で令和5年度がスタート

4月6日（木）は新任式と始業式が行われ、2・3年生の代表あいさつから、自らを振り返り、今年1年何に取り組むのかを明確にして授業や部活動がんばろうという思いが伝わってきました。また、翌日の入学式では、新しい制服に身を包み、元気に返事をする新入生の姿に、ニツ井中の生徒としての誇りを持ち、三年間がんばるんだという意気込みを感じました。全校生徒数122名の輝く瞳を見ることができた、令和5年度のスタートでした。

本校職員一同、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力を得ながら、校訓、学校教育目標の具現化に向けて、様々な活動に取り組み、子どもたちが将来たくましく生きていく力を身に付けることができるよう精一杯がんばります。よろしくお願いたします。



担任の先生から名前を呼ばれ元気に返事をして起立した新入生40名。話を聞く態度も大変立派でした。



生徒会長の□□□□さんが「学級の仲間、学年の仲間、そして、全校生徒とともに二中を盛り上げ、感動を分かち合いましょう」と歓迎の言葉を述べました。



新入生を代表して□□□□さんが「ニツ井中学校の生徒としての誇りを持ち、互いに高め合って輝かしい伝統を守っていくことができるよう精一杯努力します」と誓いの言葉を述べました。

入学式 校長式辞「励ましの言葉」(抜粋)

「ルール」「友情」「根性」この三つの言葉は、本校の校訓になります。ルールを守ることは、社会人として最も大切なことです。友情は、互いの信頼関係のもとに成り立ちます。根性とは、苦しさや困難に耐えて成し遂げようとする強い精神力のことです。ニツ井中学校の生徒一人一人に身に付けてほしい力であり、目指してほしいものです。中学生は、子ども扱いされずに大人として扱われる場面も多くなります。中学校生活は、人として当たり前前を当たり前前にできるような立派な大人になるためにとても大切な三年間になります。中学校生活を有意義なものにするために、そして一人の人間としてよりよく生きるために、常に心がけてほしいことを二つお話します。

一つ目は、「将来の進路を意識した生活をする事」です。まだ何をやるかはっきり決まっていないという人もいるかもしれませんが、そういう人は、大まかでも、複数でも構いません。その達成のためには、どの高校を選択すればいいのか、高校に入学するには、どのような力を付けなければならないのか、そのためにはどのような態度で取り組まなければならないのかといった、人生を逆算して考えてみてください。ゴールがはっきりすれば、将来の夢の実現へのシナリオが完成すると思います。そして、決めたことはどんなことがあっても、諦めずに最後までやり通してください。

二つ目は「思いやりの心を持つこと」です。みなさん一人一人は、世界でたった一つの大切な命をもったかけがえのない存在です。自分を大切にすることはもちろんのこと、周りの人に対しても温かく、優しく、常に思いやりの心を忘れずに接してください。いじめたり、傷つけたり、つらい思いをさせたりということがないようにしてください。集団生活の基本は少しの我慢といっぱいの思いやりです。自分のことをしっかりと考えるとともに、いつも他人の立場に立って考えることができるようになってほしいと願っています。

